

NVIDIA を巡る 日本・韓国・台湾の最新動向

日本の「勝ち筋」と政策・産業上の課題

調査基準日：2026 年 7 月 17 日 | 対象：直近公表情報を中心に 2024–2026 年を検証

GPT-5.6 Sol

要点

日本の優位は GPU の保有量ではなく、製造装置・ロボット・センサー・高品質な現場データを、再現可能な導入標準と輸出可能な安全性へ変換できるかにある。

調査要旨

結論

NVIDIA は東アジアを一つの補完的な AI 生産圏として組み立てつつある。台湾は製造・実装、韓国は HBM と大規模需要、日本はロボット・産業現場・国家規模の基盤モデルが主戦場である。日本の勝ち筋は、NVIDIA の計算基盤を使いながらも、データ権利、タスク／制御モデル、インターフェース、安全保証、販売チャンネルを国内側に残すことだ。

日本では、Noetra を中核とする 140MW 級の Vera Rubin 基盤と、2026–2030 年度のマルチモーダル基盤モデル開発が政策・産業横断で動き始めた。一方、主力稼働は 2028 年予定であり、韓国の GPU 集積や台湾の Rubin 量産立ち上げに対して、実装時期の差がある。[2][3][4][5][6]

韓国は政府と Samsung、SK、Hyundai、NAVER を合わせて 26 万基超の GPU 構想を掲げ、HBM、製造 AI、モビリティ、国産基盤モデルを同時に拡大している。ただし、この数字は複数年・複数主体の計画合計であり、現時点の即時稼働量とは区別すべきである。[14][15][16][17][18][19]

台湾は Rubin 世代の製造・先端パッケージ・サーバー組立の中心であり、TSMC、Foxconn、GMI Cloud を通じて供給網と AI ファクトリーの両方を強化している。最大の制約は電力、用地、先端パッケージ能力を同時に確保することにある。[21][22][23][24][25][26][29]

本稿の判断を一文で

- 日本は「GPU を何基買うか」では韓国に、「どれだけ速く作るか」では台湾に勝ちにくい。
- 勝てるのは、現場データから学習・検証・安全認証・保守までを一体化した産業 AI の運用標準である。
- 政策 KPI は計算資源の整備量ではなく、本番稼働ライン数、顧客 ROI、国内に残る粗付加価値、データ権利、海外売上で測るべきである。

0. 調査範囲と読み方

調査基準日は 2026 年 7 月 17 日。NVIDIA、各国政府・企業の一次資料を優先し、金額・時価総額・設備能力など市場検証が必要な項目は Reuters や専門媒体で補完した。企業発表に含まれる「世界初」「最大」「最大 10 分の 1」などの表現は、第三者検証済みの確定値ではなく、発表主体の主張として扱う。

「直近」は原則として 2025 年以降、背景説明が必要な場合のみ 2024 年情報を含めた。「発表」「契約」「建設」「稼働」を区別し、計画合計を足元の設置済み能力と混同しない。日本の勝ち筋は、①実装速度、②国内価値捕捉、③技術・データ主権、④輸出可能性、⑤エネルギー制約の 5 軸で評価した。

1. 提示情報のファクトチェック

主張	判定	検証結果
NVIDIA の時価総額は約 5.1 兆ドル	概ね妥当	2026 年 7 月 17 日時点の市場報道と整合。ただし時価総額は株価で日々変動する。[1]
2026 年 7 月にフアン CEO が来日し国家規模の基盤を発表	確認	Noetra、NVIDIA、経産省・NEDO の公表資料で確認できる。[2][3][4][6]
Noetra は 140MW の Vera Rubin クラスタを構築	確認	27,500 基の Rubin GPU と 13,750 基の Vera CPU、140MW 級。建設開始は 2027 年 4 月、稼働開始は 2028 年 6 月予定。[2][3]
『世界初』の国家規模フィジカル AI 基盤	要留保	NVIDIA の発表表現。独立した世界比較の検証結果ではなく、ベンダー主張として引用すべき。[3]
Vera Rubin で推論コストを最大 10 分の 1	条件付き	NVIDIA が Blackwell 世代比で示す性能・コスト目標。モデル、精度、電力、稼働率など条件依存である。[20][21]
Omniverse を本番利用・再配布まで完全無料化	表現過大	無償利用範囲は拡大しているが、契約・サポート・再配布条件はライセンス条項に従う。『一切の費用と条件がない』とは言えない。[30]
富士フイルムが Blackwell 搭載の全身 CT を製品化	裏付け未確認	今回確認した一次資料では当該製品の正式発表を特定できなかった。医療 AI での NVIDIA 採用一般とは切り分けるべき。[8][9][28]

注：『裏付け未確認』は不実を断定するものではなく、本調査で確認した公開一次資料に基づく評価。

2. 三国の構造比較：NVIDIA が割り当てる役割

国・地域	主戦場	直近の具体化	競争上の意味
日本	産業現場・ロボット・基盤モデル	Noetra 140MW、国費 3,873 億円案、Cosmos を軸に製造業横断の実装。 [2][3][5][7]	強い現場資産を持つ一方、本格稼働が 2028 年で、データ共有と量産実装がボトルネック。
韓国	HBM・大規模需要・財閥主導の垂直統合	26 万基超の GPU 構想、Samsung AI Factory、SK hynix メモリ共同設計、Hyundai・NAVER・SKT の需要。 [14][15][16][17][18][19]	意思決定と設備投資が速い。計画合計と実稼働、電力・投資採算の管理が課題。
台湾	先端製造・パッケージ・サーバー供給網	Rubin 量産、TSMC の AI 活用、Foxconn/GMI AI Factory、NVIDIA 台湾拠点拡大。 [21][22][23][24][25][26][27]	AI ハードの価値捕捉は最大。ただし電力、先端パッケージ、人材・地政学リスクが集中。

本表の『役割』は公表案件を基にした本稿の整理であり、NVIDIA が公式に地域分業を宣言したものではない。

競争の本質

NVIDIA の戦略は GPU 販売だけではない。Vera CPU、Rubin GPU、NVLink、ネットワーク、CUDA、AI Enterprise、Omniverse、Cosmos、各種業界ライブラリを束ね、AI ファクトリーの設計・運用標準を握ることにある。[\[20\]\[21\]](#) 三国は同じ標準を採用しながら、価値を取る場所が異なる。台湾は供給側、韓国はメモリと巨大需要、日本は現場運用と安全・品質で差別化する構図である。

3. 日本関係の直近動向

3.1 Noetra と国家規模フィジカル AI 基盤

Noetra はソニーグループ、ソフトバンク、NEC、Honda などの中核に、44 社・機関が参画する企業連合として公表された。140MW 級のインフラに 27,500 基の Rubin GPU、13,750 基の Vera CPU を導入し、国内で基盤モデルの研究開発を進める。[\[2\]\[3\]](#)

工程は、2027 年 4 月に建設開始、2028 年 6 月に稼働開始予定。モデル面では 2026 年度に推論能力、2028 年度にオムニモーダル化、2030 年度に現実世界ネイティブ AI を目標とする。設備とモデルの双方が段階計画であり、ステージゲートで成果を確認する設計になっている。

[\[2\]\[4\]\[6\]](#)

経産省の 2026 年度予算案は 3,873 億円。NEDO は当初 2026–2027 年度の実施体制を示し、その後の継続は年度ごとの評価に左右される。[\[5\]\[6\]](#) したがって、3,873 億円を一括確定支出、140MW を即時稼働済み能力と表現するのは不正確である。

3.2 製造・ロボティクス：Cosmos を共通言語に

FANUC、安川電機、川崎重工業、富士通などは NVIDIA Cosmos、Omniverse、Isaac を使い、ロボット学習、デジタルツイン、複数メーカー機器の協調制御を検討・開発している。[\[7\]\[9\]](#) 日本の強みは、工場設備、産業ロボット、検査、工作機械、センサー、保守の実データを持つことにある。

ただし、多くの案件は『構築する』『検討する』『意向を示す』段階を含む。NVIDIA のプレスリリース自身も将来予測に関する免責を付しているため、導入企業数や本番ライン数と混同しない評価が必要である。[\[7\]](#)

3.3 産業別 AI と国内クラウド基盤

日本企業は Nemotron、BioNeMo、AI Enterprise などを用い、創薬、金融、医療、モビリティ、研究、国産言語モデルへ適用範囲を広げている。NVIDIA はアステラス製薬、第一三共、小野薬品工業、Toyota、金融機関、理化学研究所などの取り組みを紹介しているが、個別成果の商用規模は案件ごとに検証が必要である。[\[8\]\[9\]](#)

インフラ面では、SoftBank、Sakura Internet、GMO Internet Group、KDDI などが NVIDIA 基盤を国内展開してきた。[\[10\]\[11\]](#) これに加え GMI Cloud は鹿児島を軸に最大 1GW、総額 120 億ドル規模の構想を発表したが、初期は 16 ラック、専門媒体では初期 350MW 級と報じられている。『最大 1GW』は最終構想値であり、既設能力ではない。[\[12\]\[13\]](#)

日本動向の評価

機会と弱点

日本は、データセンターの規模ではなく、ロボット・医療・モビリティ・製造の高信頼用途を統合できる点で差別化できる。しかし、Noetra の本格稼働が 2028 年予定である以上、2026–2027 年の間に既存 GPU 基盤を使ってデータ整備、評価指標、権利処理、現場導入を先行させなければ、完成時に『計算資源はあるが学習可能な現場データがない』状態になり得る。

4. 韓国関係の直近動向

4.1 26 万基超の GPU 構想

NVIDIA は 2025 年 10 月、韓国政府と主要企業による 26 万基超の GPU 導入構想を発表した。内訳は政府 5 万基、Samsung 5 万基、SK Group 5 万基、Hyundai Motor Group 5 万基、NAVER Cloud 6 万基規模である。[\[14\]](#) これは国家と財閥の需要を束ねた、世界でも最大級の AI インフラ計画である。

重要なのは、26 万基が一括納入済みの在庫ではなく、複数主体・複数年の計画総量だという点である。世代、設置時期、電力、用途、稼働率は主体ごとに異なる。投資家・政策担当者は『発注・設置・受電・商用稼働』を分けて追う必要がある。

4.2 Samsung と SK hynix : 製造とメモリの結節点

Samsung は 5 万基規模の AI Factory を掲げ、半導体・モバイル・ロボティクスの設計・製造へデジタルツインと AI エージェントを適用する。NVIDIA にとって Samsung は顧客であると同時に、メモリ、ファウンドリー、製造ノウハウの供給者でもある。[15]

SK hynix は 2026 年 6 月、Vera Rubin、Vera CPU、RTX、Jetson Thor など将来プラットフォーム向けメモリの複数年共同開発を NVIDIA と発表した。[16] 韓国の戦略的な取り分は GPU 本体よりも、HBM を含むメモリ帯域と歩留まり、供給確度にある。

4.3 Hyundai、NAVER、SK Telecom : 需要の多層化

Hyundai Motor Group は 5 万基の Blackwell GPU と 30 億ドル規模の協力を軸に、自動運転、ロボット、スマートファクトリーを含むフィジカル AI 基盤を構築する。[17] 韓国は NVIDIA を半導体だけでなく、モビリティ産業のオペレーティングレイヤーとして取り込もうとしている。

NAVER は 55MW 級から将来のギガワット級へ AI インフラを拡張し、HyperCLOVA X や Seoul World Model を展開する。SK Telecom も 2027 年の最初の AI Factory からギガワット級への拡大を掲げる。[18][19] 国内言語・検索・通信データを需要基盤に持つ点が韓国の強さである。

韓国動向の評価

日本への含意

韓国は、大企業グループがメモリ供給、GPU 需要、クラウド、製造、消費者サービスを同時に動かせる。日本が同じ速度を出すには、44 社の合議を重くするのではなく、用途別の少数責任主体に予算・データ・KPI を束ねる必要がある。

5. 台湾関係の直近動向

5.1 Rubin 量産と供給網の中核

NVIDIA は 2026 年 5 月、Vera Rubin がフル生産段階に入り、世界の AI ファクトリー向けに立ち上がると発表した。[21] 台湾では約 150 社のサプライチェーン・パートナー、500 社規模のエコシステム、25 工場で 100 万点規模の MGX 関連部品という広がりが見られている。[22] 数字は NVIDIA 公表値だが、台湾が AI サーバーの設計・製造・組立を一体で担うことを示す。

5.2 TSMC : 製造能力と AI 活用の同時強化

TSMC は CUDA-X、cuLitho、cuEST、Omniverseなどを半導体設計・製造へ適用し、リソグラフィ、歩留まり、工場運用を高度化している。[23] 同時に、台湾政府は嘉義で先端パッケージ工場 2 棟を追加すると説明しており、CoWoS など後工程能力の拡張が続く。[24]

ここで台湾が得る価値は、GPU のファウンドリー売上だけではない。先端パッケージ、基板、電源、冷却、サーバー、ラック、検査、物流まで周辺部材に波及する。NVIDIA の世代更新が速いほど、台湾のサプライチェーン調整力が競争優位になる。

5.3 Foxconn、GMI Cloud、台湾拠点

Foxconn は台湾政府・NVIDIA と 1 万基規模の Blackwell GPU を用いる AI Factory を発表した。[\[25\]](#) GMI Cloud の TPE11 は 16MW、7,000 基の GB300 を計画し、2026 年第 2 四半期に第 1 段階、第 4 四半期に全面稼働という工程を示す。[\[26\]](#) 日本の Noetra より早い時点で Blackwell 世代の需要を実装し、Rubin への橋渡しを行う。

NVIDIA は『Constellation』と呼ぶ台湾拠点を 2030 年までに約 4,000 人規模へ拡大する方針を示す。[\[22\]](#) 一方、年間 1,500 億ドルという数字は台湾での本社建設投資額ではなく、サプライチェーンからの調達・支出規模を指すとの報道である。[\[27\]](#)

5.4 医療 AI と電力制約

NVIDIA、Foxconn、台湾の医療機関は Healthy Taiwan 構想でエージェント AI、デジタルツイン、医療ロボットを展開する。[\[28\]](#) 台湾は製造だけでなく、病院・公共サービスを需要側の実証場にしようとしている。

制約は電力である。Foxconn の AI データセンターは最終的に 100MW 級とされるが、電力確保に合わせた段階建設になる。[\[29\]](#) 台湾のボトルネックは GPU 調達よりも、受電・冷却・用地・系統増強を量産スケジュールと同期させることにある。

台湾動向の評価

日本への含意

台湾は Rubin の量産と AI ファクトリー運用を同時に進め、世代移行の学習速度を上げている。日本は台湾と製造量で競うのではなく、装置・材料・検査、そして高信頼用途の評価・安全でサプライチェーンに不可欠な位置を取るべきである。

6. 日本の勝ち筋との関係で見る 8 つの課題

#	課題	問題の構造	優先対応	重要度
1	実装時期の空白	Noetra の本格稼働は 2028 年予定。 台湾・韓国は 2026–2027 年に既存世代で学習・運用経験を積む。	2026–2027 年をデータ・評価・現場統合の先行期間にし、既存クラウドで実案件を回す。	高
2	NVIDIA 依存と主権	ハード、ネットワーク、CUDA、モデル、運用まで同一ベンダーに寄ると移行費用が膨らむ。	データ権利、モデル重み、評価セット、API 仕様、運用ログを国内主体が保持し、代替経路を契約化。	高
3	データ共有と知財	製造データは企業秘密、個人情報、製造物責任と密接で、44 社での横断利用は難しい。	用途別データトラスト、学習権・二次利用権・成果帰属・事故時責任を標準契約にする。	高
4	電力・系統・冷却	140MW 級は GPU 調達だけで成立せず、受電、変電、冷却、水、用地、通信がクリティカルパス。	電力確保と計算資源発注を同じゲートで管理し、PUE・再エネ比率・停止時対応を公開 KPI 化。	高
5	実証から本番への壁	PoC は多くても、停止できない工場・病院・交通での 24 時間運用は別問題。	1 用途 1 責任主体で本番導入し、稼働率、誤作動率、復旧時間、顧客 ROI を成果条件にする。	中高
6	国内価値捕捉の薄さ	補助金が GPU・クラウド費用へ流れるだけでは、利益は海外プラットフォームへ集中する。	国内ソフト、SI、データ整備、安全認証、保守、輸出売上に連動して支援を段階支給。	高
7	44 社ガバナンス	参画者が多いほど合意コストと責任の曖昧さが増える。	領域別に少数のプロダクト責任者を置き、予算・データ・納期・撤退判断を一元化。	中高
8	安全・責任・サイバー	フィジカル AI は誤作動が人身・設備損害へ直結し、モデル更新も攻撃面を広げる。	安全ケース、レッドチーム、更新署名、フェイルセーフ、事故報告、保険を導入前条件にする。	高

重要度は本稿の戦略評価。Noetra の工程・規模は[2][3][6]、韓国・台湾の先行状況は[14][21][26]を参照。

7. 日本が取るべき勝ち筋

7.1 『リアルワールド・データ・フライホイール』を作る

日本の競争資産は、ロボットの軌道、設備の振動、熟練者の操作、検査画像、保守履歴、異常時対応など、現場に埋もれたデータである。これを単に大規模モデルへ投入するのではなく、データ取得→権利処理→学習→シミュレーション→実機検証→事故・異常フィードバックの循環にする。

- 対象を『汎用ロボット』ではなく、溶接、搬送、検査、介護、災害対応など高価値タスクに区切る。
- 成功指標をモデルスコアではなく、サイクルタイム、不良率、停止時間、事故率、作業者負荷、粗利益で定義する。

- 合成データとデジタルツインは補助と位置付け、実機での分布ずれ・安全検証を必須化する。

7.2 NVIDIA を使いながら『握る層』を明確にする

区分	具体項目
NVIDIA に委ねてもよい層	GPU、ネットワーク、汎用ランタイム、基礎的なシミュレーション機能
国内で必ず保持する層	原データと学習権、タスク／制御モデル、評価セット、運用ログ、安全ルール、顧客契約
標準化して外へ売る層	機器接続 API、評価プロトコル、安全ケース、監査・認証、保守運用、業種別導入テンプレート

本表は本稿の提言。NVIDIA のフルスタック構成については Vera Rubin および Cosmos 関連資料[\[7\]\[20\]\[21\]](#)を参照。

7.3 安全性・品質を輸出商品にする

製造、交通、医療、介護では、最高性能より『予測可能に止まる』『更新後も安全』『事故原因を追跡できる』ことが価値になる。日本は品質保証、機能安全、現場保守の蓄積を、AI の評価・認証サービスへ転換できる。国内規制への適合だけでなく、アジア・欧州へ輸出できる共通仕様を狙うべきである。

7.4 東アジア分業を競争力に変える

台湾の先端製造・パッケージ、韓国の HBM、日本の製造装置・ロボット・センサー・現場データは相互補完的である。[\[16\]\[22\]\[23\]](#) 日本は全てを国産化するより、供給リスクを分散しつつ、現場アプリ、安全、統合、顧客接点で不可欠になる方が現実的だ。

8. 2026–2030 年の実行優先順位と KPI

8.1 実行順序

時期	優先アクション
今後 6 か月	用途を 10 前後に絞り、責任主体・顧客・データ権利・本番 KPI を確定。電力と設備工程を統合管理。
2027 年まで	既存 GPU で本番ラインを稼働。評価セット、安全ケース、更新・事故報告の標準を策定。
2028 年	Noetra 基盤へ移行・拡張。国内モデルと NVIDIA 依存部分を可視化し、価格・可用性・移植性を検証。
2029–2030 年	導入テンプレート、安全認証、保守運用を海外展開。補助金依存から輸出・利用料収入へ移行。

工程の起点は Noetra の建設・稼働予定[\[2\]\[3\]](#)に合わせた本稿の提案。

8.2 政策・経営 KPI

領域	測定すべき KPI
インフラ	設置済み GPU 数、受電済み MW、稼働率、ジョブ待ち時間、可用性、障害復旧時間
エネルギー	PUE、再エネ・低炭素電源比率、系統接続進捗、冷却水使用、ピーク制御
データ	権利処理済みタスクデータ数、参加企業数、再利用可能な評価セット、データ更新頻度
本番実装	24 時間稼働ライン数、PoC→本番転換率、誤作動率、停止時間、不良率・生産性改善
経済性	顧客 ROI、国内粗付加価値、国内ソフト・サービス比率、補助金 1 円当たり民間売上
主権・移植性	国内保有のモデル・データ比率、代替基盤での再現率、移行所要日数、価格交渉力
海外展開	海外売上、輸出導入件数、安全認証取得、海外パートナー、保守継続率

KPI は『設備保有』から『本番成果と国内価値捕捉』へ評価軸を移すための本稿提案。

9. 投資家向けの読み方

NVIDIA の 2027 年度第 1 四半期売上高は 816 億ドル、データセンター売上高は 752 億ドルで前年同期比 92%増だった。[\[31\]](#) 2026 年 7 月 17 日時点で時価総額は約 5.1 兆ドルに達したとの報道がある。[\[1\]](#) 東アジアの国家・産業案件は、ハイパースケーラー以外の需要源を広げる意味を持つ。

ただし、主権 AI や政府支援案件が直ちにハイパースケーラー投資を代替するわけではない。投資家の一部は、巨大クラウド企業の設備投資成長率が鈍化する可能性に備えている。[\[32\]](#) 国別プロジェクトは需要の分散要因だが、工程遅延、受電、資金調達、稼働率が売上認識を左右する。

国・地域	投資家が追うべき指標
日本	中長期のフィジカル AI 需要。2028 年稼働までの前倒し案件と、補助金から商用需要への転換を確認。
韓国	GPU 需要と HBM 供給の双方に寄与。26 万基の実納入時期、HBM 価格・歩留まり、財閥 CAPEX を確認。
台湾	Rubin 供給・先端パッケージ・サーバー出荷の最重要拠点。電力、CoWoS 能力、在庫循環、地政学を確認。

業績は[\[31\]](#)、市場評価は[\[1\]](#)、ハイパースケーラー CAPEX リスクは[\[32\]](#)を参照。

10. 最終評価

総括

NVIDIA の東アジア展開は、台湾の『作る力』、韓国の『大量に買い、メモリを供給する力』、日本の『現場で安全に使い切る力』を結び付ける。日本の最大のリスクは技術不足ではなく、実装の遅さ、データ・責任の分断、電力工程、国内価値捕捉の弱さである。

勝敗を分けるのは、140MW や GPU 数そのものではない。2026–2027 年に本番データと安全標準を先行整備し、2028 年の計算基盤を直ちに収益化できるかである。日本は NVIDIA への依存を拒むのではなく、依存する層を選び、現場データ、制御、安全、顧客関係、輸出権を握る必要がある。

政策面では、設備の完成を成果とせず、本番稼働、顧客 ROI、国内粗付加価値、移植性、海外売上を支援の継続条件にすることが最重要である。これができれば、日本は GPU 製造国でなくとも、フィジカル AI の高信頼実装国として独自の勝ち筋を持てる。

継続投資の判断ゲート

ゲート	Yes と判断する条件
需要	補助金を除いても支払う本番顧客と、用途別の責任主体が確定しているか。
データ・主権	学習権、成果帰属、評価セット、移植手順を国内側が契約で確保しているか。
インフラ	受電、冷却、通信、保守まで含むクリティカルパスと代替策が実証されているか。
成果	稼働率、顧客 ROI、国内粗付加価値、海外売上が次段階の支援条件に連動しているか。

4 項目のいずれかが No である場合、GPU・施設の追加投資より先に事業設計を是正する。

参考文献

本文中の角括弧番号は以下の文献番号に対応する。URL はいずれも 2026 年 7 月 17 日に最終確認した。企業発表は将来予測・ベンダー主張を含むため、本文では必要に応じて留保を付した。

- [1] Reuters. “Apple closes in on Nvidia in race for world's most valuable company.” 2026-07-17. <https://www.reuters.com/business/apple-closes-nvidia-race-worlds-most-valuable-company-2026-07-17/> (2026 年 7 月 17 日閲覧)
- [2] Honda Motor Co., Ltd. / Noetra Corp.ほか. “Noetra Launches Full-Scale R&D for Japan-Developed Multimodal Foundation Model.” 2026-07-16. <https://global.honda/en/newsroom/news/2026/c260716eng.html> (2026 年 7 月 17 日閲覧)
- [3] NVIDIA. “Japan Government, Industrial Leaders and NVIDIA Launch the World's First National AI Infrastructure.” 2026-07-16. <https://nvidianews.nvidia.com/news/japan-government-industrial-leaders-and-nvidia-launch-the-worlds-first-national-ai-infrastructure> (2026 年 7 月 17 日閲覧)
- [4] 経済産業省. “『AI ロボット・フィジカル AI を見据えたマルチモーダル基盤モデル開発事業』を開始します。” 2026-06-30. <https://www.meti.go.jp/press/2026/06/20260630005/20260630005.html> (2026 年 7 月 17 日閲覧)
- [5] 経済産業省. “『AI ロボット・フィジカル AI を見据えたマルチモーダル基盤モデル開発事業』令和 8 年度予算（案）3,873 億円.” 2026-04-13. https://www.meti.go.jp/policy/policy_management/ebpm/kensyo_shinario/260413_multimodal.pdf (2026 年 7 月 17 日閲覧)
- [6] NEDO. “『AI ロボット・フィジカル AI を見据えたマルチモーダル基盤モデル開発事業』の実施体制の決定について.” 2026-06-30. https://www.nedo.go.jp/koubo/CD3_100431.html (2026 年 7 月 17 日閲覧)
- [7] NVIDIA. “Japan's Robotics and Manufacturing Leaders Build on NVIDIA Cosmos to Advance Physical AI Frontier.” 2026-07-15. <https://nvidianews.nvidia.com/news/japans-robotics-and-manufacturing-leaders-build-on-nvidia-cosmos-to-advance-physical-ai-frontier> (2026 年 7 月 17 日閲覧)
- [8] NVIDIA. “Japan's Enterprises and Startups Build Industry-Specialized AI With NVIDIA Nemotron Open Models.” 2026-07-15. <https://nvidianews.nvidia.com/news/japans-enterprises-and-startups-build-industry-specialized-ai-with-nvidia-nemotron-open-models> (2026 年 7 月 17 日閲覧)
- [9] NVIDIA Blog. “NVIDIA and Japan Bring Full-Stack AI and Robotics to Every Industry.” 2026-07. <https://blogs.nvidia.com/blog/japan-ecosystem-2026/> (2026 年 7 月 17 日閲覧)
- [10] NVIDIA. “NVIDIA and SoftBank Corp. Accelerate Japan's Journey to Global AI Powerhouse.” 2024-11-12. <https://nvidianews.nvidia.com/news/nvidia-and-softbank-accelerate-japans-journey-to-global-ai-powerhouse> (2026 年 7 月 17 日閲覧)
- [11] NVIDIA. “Japan Cloud Leaders Build NVIDIA AI Infrastructure to Transform Industries for the Age of AI.” 2024-11-12. <https://nvidianews.nvidia.com/news/japan-cloud-leaders-build-nvidia-ai-infrastructure-to-transform-industries> (2026 年 7 月 17 日閲覧)
- [12] GMI Cloud. “GMI Cloud Announces 1GW Sovereign AI Infrastructure in Japan Accelerated by NVIDIA Vera Rubin NVL72.” 2026-03-18. <https://www.gmicloud.ai/en/blog/gmi-cloud-announces-1gw-sovereign-ai-infrastructure-in-japan-accelerated-by-nvidia-vera-rubin-nvl72-tm> (2026 年 7 月 17 日閲覧)
- [13] Data Center Dynamics. “GMI Cloud launches \$12bn sovereign AI infrastructure initiative in Japan.” 2026-03-18. <https://www.datacenterdynamics.com/en/news/gmi-cloud-launches-12bn-sovereign-ai-infrastructure-initiative-in-japan/> (2026 年 7 月 17 日閲覧)
- [14] NVIDIA. “NVIDIA, South Korea Government and Industrial Giants Build AI Infrastructure and Ecosystem to Fuel Korea Innovation, Industries and Jobs.” 2025-10-30. <https://nvidianews.nvidia.com/news/south-korea-ai-infrastructure> (2026 年 7 月 17 日閲覧)
- [15] NVIDIA. “NVIDIA and Samsung Build AI Factory to Transform Global Intelligent Manufacturing.” 2025-10-30. <https://nvidianews.nvidia.com/news/samsung-ai-factory> (2026 年 7 月 17 日閲覧)

- [16] NVIDIA. "NVIDIA and SK hynix Announce Multiyear Technology Partnership to Advance Memory for AI Factories." 2026-06-07. <https://nvidianews.nvidia.com/news/sk-hynix-ai-factory> (2026 年 7 月 17 日閲覧)
- [17] NVIDIA. "NVIDIA and Hyundai Motor Group Team on AI Factory to Power AI-Driven Mobility Solutions." 2025-10-30. <https://nvidianews.nvidia.com/news/hyundai-motor-group-ai-factory> (2026 年 7 月 17 日閲覧)
- [18] NVIDIA. "NAVER Expands AI Infrastructure With NVIDIA to Serve Surging Global AI Demand." 2026-06-07. <https://nvidianews.nvidia.com/news/naver-ai-infrastructure> (2026 年 7 月 17 日閲覧)
- [19] NVIDIA. "SK Telecom and NVIDIA Build AI Infrastructure to Power Korea's AI Innovation." 2026-06-07. <https://nvidianews.nvidia.com/news/sk-telecom-ai-infrastructure> (2026 年 7 月 17 日閲覧)
- [20] NVIDIA. "NVIDIA Vera Rubin Opens Agentic AI Frontier." 2026-03-16. <https://nvidianews.nvidia.com/news/nvidia-vera-rubin-platform> (2026 年 7 月 17 日閲覧)
- [21] NVIDIA. "NVIDIA Vera Rubin Ramps Into Full Production to Power Agentic AI Factories Worldwide." 2026-05-31. <https://nvidianews.nvidia.com/news/vera-rubin-full-production-agentic-ai-factory> (2026 年 7 月 17 日閲覧)
- [22] NVIDIA Blog. "Taiwan's Industry Titans Turbocharge World's AI Infrastructure Buildout With NVIDIA." 2026-05-31. <https://blogs.nvidia.com/blog/taiwan-ecosystem-ai-infrastructure/> (2026 年 7 月 17 日閲覧)
- [23] NVIDIA. "NVIDIA and TSMC Bring AI Into Fabs to Advance Semiconductor Design and Manufacturing." 2026-05-31. <https://nvidianews.nvidia.com/news/nvidia-and-tsmc-bring-ai-into-fabs-to-advance-semiconductor-design-and-manufacturing> (2026 年 7 月 17 日閲覧)
- [24] Reuters. "TSMC to add 2 advanced chip packaging plants in Chiayi, Taiwan minister says." 2026-07-13. <https://www.reuters.com/world/asia-pacific/tsmc-add-2-advanced-chip-packaging-plants-chiayi-taiwan-minister-says-2026-07-13/> (2026 年 7 月 17 日閲覧)
- [25] NVIDIA. "Foxconn Builds AI Factory in Partnership With Taiwan and NVIDIA." 2025-05-18. <https://nvidianews.nvidia.com/news/foxconn-ai-factory-tsmc-taiwan-nvidia> (2026 年 7 月 17 日閲覧)
- [26] GMI Cloud. "San Jose GTC 2026 Wrap-Up." 2026-03-24. <https://www.gmicloud.ai/en/blog/san-jose-gtc-2026-wrap-up> (2026 年 7 月 17 日閲覧)
- [27] Reuters. "Nvidia to spend \$150 billion a year in Taiwan, 'epicentre' of AI revolution, says CEO." 2026-05-27. <https://www.reuters.com/world/asia-pacific/nvidia-ceo-says-taiwan-is-epicentre-ai-revolution-2026-05-27/> (2026 年 7 月 17 日閲覧)
- [28] NVIDIA. "NVIDIA, Foxconn and Taiwan Medical Centers Bring Agentic and Physical AI to 'Healthy Taiwan'." 2026-05-31. <https://nvidianews.nvidia.com/news/nvidia-foxconn-and-taiwan-medical-centers-bring-agentic-and-physical-ai-to-healthy-taiwan> (2026 年 7 月 17 日閲覧)
- [29] Reuters. "Taiwan's Foxconn says AI data centre with Nvidia to have 100 MW of power." 2025-05-21. <https://www.reuters.com/world/china/taiwans-foxconn-says-ai-data-centre-with-nvidia-have-100-mw-power-2025-05-20/> (2026 年 7 月 17 日閲覧)
- [30] NVIDIA Documentation. "Omniverse Licensing / NVIDIA Omniverse License Agreement." updated 2026-07-16. https://docs.omniverse.nvidia.com/ov/latest/common/NVIDIA_Omniverse_License_Agreement.html (2026 年 7 月 17 日閲覧)
- [31] NVIDIA. "NVIDIA Announces Financial Results for First Quarter Fiscal 2027." 2026-05-20. <https://nvidianews.nvidia.com/news/nvidia-announces-financial-results-for-first-quarter-fiscal-2027> (2026 年 7 月 17 日閲覧)
- [32] Reuters. "Among AI crowd, some investors position for slower hyperscaler spending growth." 2026-07-17. <https://www.reuters.com/business/retail-consumer/among-ai-crowd-some-investors-position-slower-hyperscaler-spending-growth-2026-07-17/> (2026 年 7 月 17 日閲覧)